第17回

難民映画祭

REFUGEE FILM FESTIVAL

©2022 世界難民の日パートナーズ

明日も、生きていく。

戦火のランナー

日本人の忘れもの フィリピンと中国の残留邦人

ムクウェゲ
「女性にとって世界最悪の場所」で闘う医師

2022.12.4(日)-12.5(月)

文京シビックホール・小ホール

東京都文京区春日1-16-21

主催 JAPAN FOR UNHCR 難民を守る。難民を支える。国連UNHCR協会　文京区

協力 UNHCR The UN Refugee Agency

パートナー JICA

詳細はこちら

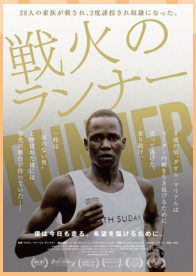
【賛同企業・団体】（50音順）
キヤノン株式会社、Gucci Changemakers、ソニーグループ株式会社、中外製薬株式会社、トヨタ自動車株式会社、株式会社ファーストリテイリング／株式会社ユニクロ、株式会社ブリヂストン、マツダ株式会社

株式会社オカムラ、株式会社ONODERA GROUP、株式会社商船三井、日本映像翻訳アカデミー株式会社、バカラ パシフィック株式会社、株式会社富士メガネ、ブラザー工業株式会社、Yahoo!ネット募金

困難に立ち向かう民衆の物語

昨今、さまざまな報道等で耳にするようになった、「難民」という言葉。
紛争や迫害で故郷を追われた人たちは、日本の人口にほぼ近い、１億人を超えました。
難民と呼ばれるようになった人たちも、私たちと同じように、
一人ひとり、愛する家族や友人、大切なそれぞれの人生があります。
たとえ、明日が約束されない状況でも、生き抜いていく。
困難に立ち向かう意志、その力強さを、ぜひ映画を通して感じてください。

上映作品（日本語字幕あり）



戦火のランナー

戦争の続くスーダンで、両親は8歳のグオル・マリアルを一人逃がした。難民キャンプで保護された彼はアメリカへ移住。高校で頭角を現し、初マラソンで2012年ロンドン五輪出場資格を得たのだが…(88分)

ムクウェゲ「女性にとって世界最悪の場所」で闘う医師

コンゴ民主共和国・東部ブカブでは、40万人以上の女性たちがレイプ被害を受け続けている。鉱物資源をめぐる利権紛争と性暴力による支配が続く地で、多くの女性を無償で治療してきた婦人科医がいた。(75分)

日本人の忘れもの フィリピンと中国の残留邦人

敗戦を境に父親と生き別れ、今も無国籍状態に置かれているフィリピン残留日本人2世たち。満州国に敗戦を機に置き去りにされた中国残留孤児たち。2つの国の残留者たちと、彼らを救おうとする市民たちの物語。(98分)

©2022 世界難民の日パートナーズ

リスト：彼らが手にしていたもの

迫りくる命の危険の中、わずか10分たらずという時間の中で持ち出したものとは？彼らのリストを通じて、一人ひとりのストーリーが見えてくる。意図を理解し、丁寧な翻訳作業を経て制作された日本語版。(9分)

上映スケジュール

全作品無料／事前申込不要
完全入替制／定員３００名

12月4日(日)

12:30	ムクウェゲ「女性にとって世界最悪の場所」で闘う医師 (75分) トークショー予定 (30分)
16:00	戦火のランナー (88分)

12月5日(月)

11:00	戦火のランナー (88分)
14:00	日本人の忘れもの フィリピンと中国の残留邦人 (98分)
18:30	戦火のランナー (88分)

・各回、本編上映の前に、短編「リスト：彼らが手にしていたもの」(9分)を上映します。
・各回、上映45分前から先着順で整理券を配布します(一人一枚)。
上映開始20分前から整理券順にご入場いただけます(自由席)。
・映画の中には、一部残虐なシーンや表現が含まれています。

今年も実施！オンライン上映

日本初公開の２作品を含む、６作品をお届けするオンライン開催も実施します。
期間中、お好きなときに何回でもご視聴いただけます。詳細は右のQRコードから。

開催期間：2022年12月1日(木)～14日(水) ※申込受付は11月1日～

特定非営利活動法人 国連UNHCR協会
〒107-0062 東京都港区南青山6-10-11 ウェスレーセンター３階
電話：03-4366-7373 (平日10時～17時)
info@japanforunhcr.org
https://www.japanforunhcr.org/

公式SNSもぜひフォローお願いします！
@unhcr_will2live
https://www.facebook.com/unhcrrff/